

- 問1 明治時代に発生した足尾銅山鉍毒事件の背景や経緯について説明した文として、適切なものはどれか選びなさい。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- 高度経済成長期の日本において、石油化学コンビナートから排出された煙による大気汚染が原因で発生した。
 - 熊本県や新潟県の沿岸部で、工場排水に含まれる有機水銀が食物連鎖を通じて人々の神経系を侵した。
 - 富国強兵や産業の発展が優先される中で、銅山から流れ出た鉍毒が渡良瀬川流域の広範囲に甚大な被害をもたらした。
 - カドミウムを含む排水が富山県の神通川に流れ込み、骨がもろくなるなどの深刻な健康被害を住民に与えた。
- 問2 明治時代の外交に関する次の3つの出来事を、年代の古いものから順に並べた場合、正しい順序の組み合わせはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- 日英同盟の締結 → 下関条約の調印 → 関税自主権の完全回復
 - 下関条約の調印 → 関税自主権の完全回復 → 日英同盟の締結
 - 関税自主権の完全回復 → 下関条約の調印 → 日英同盟の締結
 - 下関条約の調印 → 日英同盟の締結 → 関税自主権の完全回復
- 問3 明治時代から大正時代にかけての日本の近代産業に関する記述として、蚕（かいこ）がつくる繭（まゆ）を原料とし、日露戦争後には輸出高が世界一となって日本の近代化を支えた主要な輸出品は何か、答えなさい。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- 茶
 - 羊毛
 - 綿糸
 - 生糸
- 問4 1877年に発生した西南戦争が政府軍の勝利に終わり、土族による武力反乱が鎮圧された後、政府に対する反対運動はどのように変化しましたか。その後の歴史的展開として正しい説明を選びなさい。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- 武力による抵抗では政府を倒せないことが明らかになり、国会の開設などを求める言論による自由民権運動が盛んになった。
 - 武力による反抗が不可能になったため、不満を持つ人々は一斉に海外への移民を選択し、国内の政治運動は沈静化した。
 - 政府への不満は消滅し、すべての国民が政府の進める富国強兵政策に無条件で協力する体制が完成した。
 - 土族たちは再び江戸幕府を再興させるために、欧米列強と結んで軍備を整え直す秘密結社を組織した。
- 問5 第一次世界大戦前のヨーロッパで形成された「三国協商」の成立過程や背景についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- 日露戦争でロシアが敗北した後、東アジアにおけるドイツの進出を抑えるために、日本を含む4カ国で調印された。
 - アメリカ合衆国のウィルソン大統領が提唱した「民族自決」の原則に基づき、地中海の平和を維持するために結成された。
 - 露仏同盟、英仏協商、英露協商という、イギリス・フランス・ロシアの二国間での取り決めを基盤として成立した。
 - ドイツ、オーストリア、イタリアの3カ国が秘密裏に結んだ軍事同盟を指し、後にイギリスが加わって強化された。
- 問6 1877年に起こった西南戦争の戦費を調達するため、政府が大量の不換紙幣を発行したことで生じた、急激な物価の上昇を何と呼びますか。また、この経済混乱を収拾し、通貨の価値を安定させるために設立された機関を選びなさい。 (2021年 広島県公立入試 類似)
- デフレーションと国立銀行
 - インフレーションと横浜正金銀行
 - インフレーションと日本銀行
 - デフレーションと日本銀行
- 問7 明治政府が欧米の近代技術を導入して官営模範工場を設立した主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
- 主要な輸出品である生糸の品質向上と増産を進め、外貨を獲得して日本の近代化資金にあてるため。
 - 外国からの輸入生糸に対抗するため、国内消費向けの高品質な絹織物を安価に供給しようとしたため。
 - 国内の綿糸消費量をまかなうため、大量生産が可能な紡績業を急速に発展させる必要があったため。
 - 農村の余剰労働力を吸収し、重化学工業を中心とする産業革命を早期に達成しようとしたため。
- 問8 明治時代の紡績工場における労働実態について述べた文として、当時の記録や統計に示されている状況と一致するものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- 休憩時間を除いた実労働時間が1日11時間に及ぶような、非常に過酷な長時間労働が常態化していた
 - 輸出額の増加に伴って労働条件が改善され、短時間労働でも高い賃金が得られるようになった
 - 機械化の進展により、労働者の中心は熟練した技術を持つ成人男性へと移行していた
 - 労働組合の結成が進んだことで、1日8時間労働と十分な休憩時間が制度として確立されていた
- 問9 1874年に板垣退助らが提出した「民撰議院設立白書（建白書）」において、当時の明治政府に対して行われた主な主張として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- 大日本帝国憲法の草案を作成するために、ヨーロッパ諸国の憲法を調査するための使節団を派遣することを政府に求めた。
 - 内閣制度を創設することで、天皇を補佐する行政機関の権限を強化し、近代的な国家体制を整えるよう提案した。
 - 薩摩藩や長州藩などの一部の藩の出身者が権力を独占する「藩閥政治」を批判し、国民が選んだ議員による議会の開設を求めた。
 - 国会開設の勅諭が出されたことを受け、10年後の議会開設に向けて自由党や立憲改進黨などの政党を結成することを宣言した
- 問10 1895年の下関条約から1914年の第一次世界大戦勃発までの時期に結ばれた、日露戦争の講和条約に関する記述として、その背景や内容が正しいものはどれか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- 清との間で締結され、遼東半島の割譲を認めたが、その直後にロシア・ドイツ・フランスによる三国干渉を受けた。
 - 第一次世界大戦の最中に締結され、日本は中国に対して山東省の権益を譲り渡すよう要求した。
 - 日清戦争の勝利を受けて締結され、日本は多額の賠償金を得て、それを元手に八幡製鉄所を建設した。
 - アメリカのポーツマスで締結され、日本はロシアから旅順・大連の租借権を継承し、韓国への指導権を確立した。
- 問11 1872年に公布された学制以降、明治時代の教育普及状況について述べた文として、正しいものはどれですか。1870年代から1910年頃までの統計的な推移を踏まえて選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- 明治初期から男子の就学率は100%に達していたが、女子の就学率が上昇し始めたのは日露戦争が終わった後のことである。
 - 学制が発布された当初から、富国強兵の観点から男女の格差なく100%近い就学率が達成されていた。
 - 女子の就学率は明治時代を通じて男子を上回ることなく、1910年時点でも50%程度の水準にとどまっていた。
 - 明治初期の女子の就学率は約20%と、約50%であった男子に比べて大幅に低かったが、明治末期には男女ともに100%近くに達した。
- 問12 明治時代後半、日本の紡績業は大きな転換期を迎えました。1890年代の統計において、綿糸の生産体制や貿易状況の変化を説明したものとして、最も適切な内容を選んでください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- 明治初期から一貫して機械工業による綿糸生産が行われていたが、労働力不足により1890年代後半に輸出量が初めて輸入量を下回った。
 - 重化学工業の発展に伴い、機械工業による綿織物の生産が急増したが、原料となる綿糸については依然として輸入が輸出を上回り続けた。
 - 政府による輸入制限の結果、手工業による綿織物の生産が再び盛んになり、1890年代前半には国内自給率が100%に達した。
 - 伝統的な手工業から機械を用いた大規模な工場生産へと変化したことで、1890年代後半には綿糸の輸出量が輸入を上回るようになった。